

日米研究インスティテュート (USJI)

2018 年度事業計画書

1. 事業実施方針	2
2. 研究活動	2
(1) 研究テーマ	2
(2) 研究プロジェクト	3
(3) 研究成果発信	3
1) USJI ウィーク	4
2) USJI セミナー	4
3) USJI Voice	4
4) 若手米国人研究者による企業向けレポート作成・発信	4
5) USJI ニュースレター	4
6) ネットワークおよびデータベース構築	4
7) USJI 連携大学の情報発信	5
3. 人材育成	5
(1) CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS (CSPC) PRESIDENTIAL FELLOWS PROGRAM への日本人学生の派遣	5
(2) BUILDING THE TOMODACHI GENERATION (BTG) の実施	5
(3) インターンシップ	6
(4) 共同授業・学生勉強会	6
(5) スカラー制度	6
(6) U.S.-JAPAN プログラム	6
(7) 連携大学研究者、賛同団体関係者の USJI ワシントン D.C.本部の施設利用	6
4. コミュニティ形成	7
(1) 米国議会スタッフ、専門家へのブリーフィング (JAPAN101)	7
(2) USJI ネットワークの強化	7
5. 運営体制	8
(1) 法人・個人からの寄付募集	8
(2) 年度スケジュール	9

1. 事業実施方針

設立 10 年目を迎え、USJI のミッションである「研究活動」、「人材育成」、「コミュニティ形成」を推進します。

研究活動については、引き続き「環境・エネルギー」、「安全保障」、「地域協力・統合」という 3 つのテーマを中心に、「科学技術政策」（デジタルサイエンス&テクノロジー・情報セキュリティ・AI 等）も含めた日米を基軸とするグローバルな課題解決、政策提言に繋がる研究活動、成果発信を行います。具体的には以下の活動を予定しています。

- 1) 連携大学の研究者を中心とする政府関係者、産業界等との研究プロジェクトの構成と政策提言
- 2) 時節に応じた、政策提言の発信（USJI Voice）
- 3) 日米関係のタイムリーなテーマによる成果発信（USJI ウィーク、セミナー）
- 4) 米国議会関係者への積極的な情報発信（Japan 101 シリーズセミナー）

人材育成では、Center for the Study of the Presidency and Congress（CSPC）主催の Presidential Fellows Program への日本人学生派遣、The Washington Center (TWC) と共催の Building the TOMODACHI Generation（BTG）プログラムの実施などの活動を通じ、次世代の日米関係を担う人材の育成に貢献します。また、学生勉強会や USJI のワシントン D. C. オフィスにおけるインターン受け入れも継続して行います。

2017 年度に新規導入したスカラー制度を引き続き実施し、次世代を担う若手研究者の育成に注力します。さらに、今年度からの新たな取り組みとして、スカラーの中から選抜した研究者が、米国で 1 年程度研究を実施できる「U. S. -Japan プログラム」を新設し、さらなる研究者育成を推進します。

コミュニティ形成についても、これまでに構築してきたワシントン D. C. 近辺の政府機関、シンクタンク、企業、大学等との関係をさらに強化し、知日層・親日層を拡充・育成させることを目指します。

USJI の活動基盤を安定化させるための寄付募集、助成金獲得については恒常的な課題として残っていますが、日米の新たな関係の構築が期待される中において、産官学の各々の特徴を発揮できる USJI の役割は大きくなっていくと考えています。

2. 研究活動

(1) 研究テーマ

USJI 運営懇談会で年間の主要テーマを策定し、以下の 4 つの主な課題とする研究活動を行います。この他にも「通商政策」、「高等教育」、「高齢化社会」等の社会情勢に即したテーマについては、セミナーを中心に情報を発信します。

- 1) 環境・エネルギー
- 2) 安全保障
- 3) 地域協力・統合
- 4) デジタルサイエンス&テクノロジー・情報セキュリティ・AI

(2) 研究プロジェクト

今年度は前述の研究テーマの中から、時節に応じた特に社会的関心の高い課題を主要テーマとした研究プロジェクトを新たに設置します。年度の途中で研究プロジェクトが追加で構成されることもあります。

【前年度から継続中のプロジェクト】

- 1) 研究テーマ： 極域海氷の減少と藻類への影響
研究期間： 2017年12月～2020年3月（継続）
研究代表者： 鈴木石根（筑波大学教授）

- 2) 研究テーマ： 世界は反グローバル主義の時代に向かっているのか？
研究期間： 2016年4月～2019年3月（継続）
研究代表者： 中達啓示（立命館大学教授/USJI 運営アドバイザー）

- 3) 研究テーマ： トランプ政権の通商政策：日中韓への2国間アプローチ
研究期間： 2017年12月～2019年3月（継続）
研究代表者： 寺田貴（同志社大学教授/USJI 運営アドバイザー）

- 4) 研究テーマ： 顎顔面頭蓋分子発生生物学を基盤とした歯科・口腔医学トランスレーショナルリサーチと関連歯科医療の展開
研究期間： 2017年4月～2020年3月（継続）
研究代表者： 高橋一郎（九州大学教授/USJI 運営アドバイザー）

(3) 研究成果発信

日米の政策提言や日本のプレゼンス向上に寄与するスキームを構築します。具体的には、米国シンクタンク等と連携して研究発信を行うことにより、日米両政府への発信力を高めます。

賛同企業を中心とする民間企業に対しては、日米関係のタイムリーなテーマについて日米双方の専門家が課題を提供し、参加者と議論を深めるラウンドテーブル等を開催し、産学間の研究コミュニケーションを発展させます。

1) USJI ウィーク

研究プロジェクト等のUSJIの研究成果を発表するとともに、米国内におけるUSJIの認知度を高めるため、ワシントンD.C.において1週間の連続イベントを開催します。今年度は2月に実施を予定しています。USJI ウィーク時には、ワシントン D.C. 近辺に在住している日本からの留学生、研究者と米国の学生、研究者が交流できる場を提供し、コミュニティ形成や人材育成にも繋がります。

頻度：年1回（2019年2月）

場所：ワシントンD.C.

対象：日米の政府機関、シンクタンク、企業、大学の研究者、関係者、学生等

2) USJI セミナー

これまでUSJIが構築してきたワシントンD.C.でのネットワークを活用し、日米の政治家、政府機関関係者、シンクタンク、企業、大学の研究者関係者によるセミナーを開催します。タイムリーなテーマを設定し、参加者とのディスカッションも行います。

頻度：適宜（月1回程度）

場所：ワシントンD.C.

対象：日米の政府機関、シンクタンク、企業、大学の研究者、関係者、学生等

3) USJI Voice

米国内でのUSJIのプレゼンス向上を目的とし、時節にあったトピックに関する連携大学の研究者による政策提言を発信します。今年度からは研究プロジェクトの活動とも連動させて、これまで以上に積極的に発信します。

4) 若手米国人研究者による企業向けレポート作成・発信

特定テーマで中長期的視野に基づく研究レポートを若手米国人研究者へ作成依頼し、協賛企業向けに情報提供を行います。経済界との連携強化に加え、若手米国人研究者とのネットワーク強化により、将来の日米関係に有効な関係構築を目指します。

5) USJI ニュースレター

ワシントンD.C. 近辺で開催される他シンクタンクによるセミナー等に参加し、メディア等からは得られない情報を賛同団体関係者、日米政府関係者に発信します。USJI 主催イベントや、他機関と共催するイベントのサマリーも発信します。また、USJI 活動の最新情報も適宜発信します。

頻度：月2～3回程度

対象：賛同団体、日米の政府機関の関係者

6) ネットワークおよびデータベース構築

米国の政府機関、シンクタンク、企業、大学等にUSJIの活動内容を広報し、理解を得るとともに人的ネットワークを構築します。ワシントンD.C.で開催されるセミナー等に参加し、出演者、参加者とコミュニケーションを図ります。さらには、USJI イベントにおいて他団体の専門家に出演依頼

する機会等も活用し、ワシントン D.C. におけるネットワークを拡充します。

日本においては、連携大学の研究者、関係者等が保持している研究者に関する情報をデータベース化し、情報の蓄積・共有を図ります。

7) USJI 連携大学の情報発信

2011 年度より「University リサーチレポート」を、2016 年度より「University ニュース」を発行し、USJI 連携大学における研究活動等をほぼ毎月メール配信してきました。連携大学について広く周知する役割をある程度果たしたことから、この発行物を改め、今年度は連携大学の活動については USJI ウェブサイトやソーシャルメディア (SNS) で相互リンクを強化するなどして、継続した情報発信を行います。

3. 人材育成

(1) Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) Presidential Fellows Program への日本人学生の派遣

Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) 主催の International Fellows Program は、米国を中心とした、各国のトップクラスの大学に所属する学生たちが、年 2 回 (秋学期：例年 10 月、春学期：例年 3 月 各約 1 週間) ワシントン D.C. に集まり、ホワイトハウスや議会の主要メンバーらと米国の政策等について議論を行い、研究課題に沿った論文を作成するプログラムです。米国の他、日本、ブラジル、カナダ、ハンガリー、メキシコ、スペイン、英国等から毎年約 70 名が参加しています。

次世代のリーダー育成に資するとして評価の高いこのプログラムについて、トヨタ自動車株式会社から支援をいただき、USJI としては 2011 年より日本から選抜・派遣を開始し、優秀な学生を継続的に送り出しています。従来まで派遣学生は 2 名でしたが、米国 ANA の渡航費支援協力をいただき、2014 年度より 3 名を派遣することができています。2018 年度についても、ワシントン D.C. で開催される当該プログラムへの派遣を継続して行います。

この機会を活用し、米国人エリート学生と対等に議論できる日本人学生の育成を行います。プログラム参加者による報告会を開催し、日本企業関係者等にその結果などをフィードバックします。

(2) Building the TOMODACHI Generation (BTG) の実施

ワシントン D.C. に本部を置く The Washington Center (TWC) と USJI が共催する Building the TOMODACHI Generation (トモダチ世代の構築) は、日米の大学生を対象に共にリーダーシップ開発や社会問題の解決を学び、参加者間の継続的なコミュニケーションを通じ国内・海外のリーダーシップの能力を育てることを目的とした 2 週間の短期集中プログラムです。

この事業は、ルース元駐日大使の呼びかけに応じて始められた TOMODACHI Initiative の一環の事業で、日米両国政府及び民間企業のご支援により設立された TOMODACHI Fund から支援をいただいています。2013 年度に開始した本プログラムに、連携大学から 12 名の学生を派遣しています。本プログラムに協力することで、震災復興、東北地域の人財育成のみならず、幅広く日米関係の将

来を構築する人材育成、知の交流に貢献していきます。

プログラムの成果報告は、ワシントン D.C. で開催される 2 月の USJI ウィークの中で行います。

(3) インターンシップ

日米関係に興味を持つ米国の大学の学生を中心とし、USJI ワシントン D.C. 本部で学生を受け入れます。主な業務は以下を予定しています。

- ・ USJI イベントの運営サポート、サマリー作成
- ・ USJI ホームページ、パンフレット等の英語添削
- ・ 他団体開催イベントのサマリー作成
- ・ USJI ワシントン D.C. 本部の運営サポート

(4) 共同授業・学生勉強会

ワシントン D.C. 近辺の大学（ジョージタウン大学、ジョージ・ワシントン大学、アメリカン大学等）と連携し、日本からの研究者と米国の研究者がともに共同授業を実施します。また、シンクタンクの研究者、日本企業の現地法人の社員、USJI の連携大学の研究者等を講師とする学生勉強会を実施し、学生が第一線の研究者・企業人等とディスカッションできる場を提供します。

(5) スカラー制度

2017 年度より開始した若手研究者の育成を目的とした「スカラー制度」を継続し、各大学 1 名ずつを選抜し、若手研究者の米国内での研究活動をサポートします。

(6) U.S.-Japan プログラム

日米の相互交流と次代の日米研究を担う人材育成をめざし、「U. S. -Japan プログラム」を今年度新たに設置します。連携大学より選抜された将来有望な研究者を年間 2 名程度、米国大学・研究機関へ派遣します。日米関係を基軸とする国際政治・経済分野を中心に、ワシントン D.C. 近郊の大学・研究機関で共同研究を行います。また、大学内での研究活動だけではなく、現地シンクタンク等へのインターン派遣も行います。

(7) 連携大学研究者、賛同団体関係者の USJI ワシントン D.C.本部の施設利用

連携大学の研究者および賛同団体の関係者に USJI ワシントン D.C. 本部を開放します。ワシントン D.C. における研究拠点を提供することにより、特に若手研究者のワシントン D.C. での研究活動を支援します。

4. コミュニティ形成

将来の日米関係を担う若手人材の育成、日米の政策提言や日本のプレゼンス向上に寄与するコミュニティを形成させるため、以下の活動を行います。

(1) 米国議会スタッフ、専門家へのブリーフィング（Japan101）

共催：主要シンクタンク、DC 近隣州の関係機関等

対象：知日・親日層、米国政府関係者、米国経済界、高等教育機関等

頻度：適宜（月 1 回程度）

場所：ワシントン D.C.

概要：これまで議会関係者中心に開催してきましたが、それに加えてワシントン D.C. で活動する主要シンクタンクや DC 近隣州の関係機関などと協力をして、知日・親日層との意見交換会、さらには日本に関する知識の少ない米国政府関係者、米国経済界、高等教育機関などなども対象とし、日本の各分野の第一線で活躍する研究者、実務家等による日本からの諸課題の解説、日本理解のための入門講座 Japan101 シリーズセミナーなどを実施します。

(2) USJI ネットワークの強化

1) Winter Reception

対象：研究者、学生、米国・日本政府関係者、米国・日本企業関係者等

頻度：2019 年 2 月

場所：ワシントン D.C.

概要：USJI ウィーク時（2019 年 2 月）にワシントン D.C. で Winter Reception を開催し、日米関係を専門とする若手研究者や日米関係に興味を持つ学生、日本企業の現地法人の社員等に交流や議論の場を提供します。

2) 年間活動報告会（ワシントン D.C.）

対象：米国・日本企業関係者、共催機関関係者、米国・日本政府関係者等

頻度：2018 年 12 月頃

場所：ワシントン D.C.

概要：従来、日本国内のみで実施していた年間活動報告会を米国内でも実施し、USJI の活動の理解促進を深めます。

3) 年間活動報告会（日本）

対象：米国・日本企業関係者、共催機関関係者、米国・日本政府関係者、研究者、学生等

頻度：2018 年 9 月頃

場所：日本

概要：従来、日本国内で実施していた賛同企業向け年間活動報告会の開催時期・構成を改めて、前年度の活動報告に加えて、各種事業に携わった研究者や学生からの報告も交えた報告会とします。報告会後には、企業関係者、研究者、学生も交えたレセプションも開催し、

交流を深化させます。また、レセプションには過去に USJI の各種事業に参加した研究者や学生も招待し、USJI Alumni の構築を図ります。

5. 運営体制

従来どおりに、各連携大学が主体的に、研究活動サポート、情報周知、寄付募集などに取り組むと同時に、今年度は運営懇談会の機能を高め、各事業を推進します。また、これらの取組みを安定的且つ効率的に進められるよう、ワシントン D.C. オフィスならびに日本オフィスの業務体制を見直します。

(1) 法人・個人からの寄付募集

日米の両国において、USJI の活動に賛同していただける法人、個人を募集します。米国 501(c)(3) 免税非営利公益法人承認団体として、米国企業（日本企業の現地法人を含む）に対しても寄付を募集します。日本からの法人寄付については、国際交流基金を通すことにより免税措置を受けます。

研究プロジェクトや各セミナーについては、政府機関、民間財団等の外部資金に申請し、助成金を得られるよう努めます。

(2) 年度スケジュール

カテゴリ	内容	2018										2019		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
研究活動 /成果発信	研究プロジェクト	年間を通じて活動												
	USJI ウィーク												○	
	USJI セミナー	月 1 回程度												
	USJI Voice	年 10 本程度												
	USJI ニュースレター	随時												
人材育成	CSPC Presidential Fellows Program							○						○
	Building the TOMODACHI Generation (BTG)												○	
	インターンシップ	随時												
	学生勉強会	年 8-10 回程度												
	スカラ制度	随時												
	U. S. Japan プログラム	随時												
コミュニ ティ形成	Japan 101 シリーズセミナー	年 6-8 回程度												
	Winter Reception												○	
	活動報告会						○			○				
会議運営	アドバイザリーボードミーティング	年 1 回程度												
	理事会													○
	運営懇談会			○										
	事務局懇談会	年 2 回程度												

以上

名称 : U.S.-Japan Research Institute (英語)
日米研究インスティテュート (日本語)
USJI (略称)

団体資格 : 501(c)(3)免税非営利公益法人 (米国 NPO)

設立日 : 2009年4月14日

ホームページ : <http://www.us-jpri.org/en/> (英語)
<http://www.us-jpri.org/> (日本語)

メールアドレス : usjp@us-jpri.org

所在地 : 1901 Pennsylvania Avenue NW, Suite 801, Washington, DC (ワシントン D.C. 本部)
〒169-8050 東京都新宿区戸塚町 1-104 早稲田大学総長室内 (日本オフィス)

連絡先 : 202-452-6142 (ワシントン D.C. 本部電話番号)
03-5286-8740 (日本オフィス電話番号)
03-5286-9801 (日本オフィスファックス番号)

